

平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立広戸小学校

教育目標(めざす児童生徒像)

「夢」「愛」「学び」を拓く広戸っ子の育成
 -元氣・やる氣・本氣・根氣-
 みんなが輝く広戸っ子
 めざす子ども像
 にこにこ挨拶 思いやりのある子ども
 いきいき生活 たくましい子ども

こつこつ学習 進んで学ぶ子ども
 わくわく体験 よく働く子ども

今年度の指導の重点

- (1)心の教育の充実と人間理解の深化
- (2)基礎基本の習熟と学ぶ力の育成
- (3)健康づくりと安全教育の推進
- (4)ふるさと体験と実践力の育成

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

- 全国(小学校6年)
- 国語A・Bの平均正答率は、昨年度より2.5ポイント上がっている
 - 特に国語Bに関しては、県平均をわずかであるが上回っている
 - 国語に関しては正答率の低い児童が昨年度に比べて減っている
 - 国語に関しては上位層の児童の割合が増えている
 - 算数Aの平均正答率は、昨年度より11ポイント上がり、全国平均も上回っている
 - 算数に関しては下位の児童がいなくなり、力が均衡してきている
 - 設問の半分以上が解けている児童が2割程度しかない
- 県(中学校1年)
- どの教科においても県平均正答率を15ポイントから20ポイント下回っている
 - 国語では書くこと、読むことの領域の力が弱い
 - 数学では、図形分野が特に弱い
 - 社会では工業や産業の分野が弱い
 - 理科では電流の働きといった物質とエネルギー分野が弱い
 - 基礎と活用を比べると、活用の力がより劣っている

【学習状況調査の結果】

- 地域の行事に参加している児童が全国平均より33ポイント多い。地域の教育力が残っている。
- 理科が好きで自然観察をしたり自然の中で遊ぶことが好きな児童が全国平均より13ポイント多い。
- 将来の夢や目標を持っている児童が全国平均より13ポイント多い。
- テレビやゲームをする時間は全国平均より6.5ポイント多く、家庭学習の時間は8.1ポイント少ない。
- 読書時間は全国平均より少なく、読書量が不足していることがわかる。
- 全国と比べ家庭での予習の時間が25ポイント、復習の時間が45ポイント少ない。
 家庭ではテレビやゲームに多くの時間を割き、読書をしたり予習、復習をしたりする習慣がついていない。
 学力が定着していない理由の1つと考えられる。
- あいさつをしている児童は県平均を上回っており、児童はよくあいさつをしていることがわかる。
- 授業の中で、「ねらいが示されていた」「グループで話し合っていた」「まとめやふりかえりをしていた」が県平均より下回っている。岡山型学習指導スタンダードを意識した授業が定着できていないと考えられる。

成果と課題

- 成果
- 国語の活用問題の力がついてきている
 - 算数の基礎基本の力がついてきている……輝きタイムを使った反復学習などの成果
 - 算数については下位の児童が少なくなっている
 - 将来の夢や目標をもっている児童が多い
 - 地域の行事に児童も保護者も参加している
- 課題
- 基礎問題に比べて活用する力が弱い
 - 集団の中で自分の意見を発表することが苦手な児童が多い
 - 国語で主語を答えたり、文の型を選んだりする文法力が弱い
 - 算数は基礎問題に比べ、思考力を問う文章問題の力が弱い
 - 教師にも授業の「めあて」「まとめ・ふりかえり」「集団での思考」といったことが意識されていない
 - 家庭での予習・復習ができていない

課題に対応した改善方法

- 岡山型学習指導スタンダードに沿って「めあて」「自分で考える時間」「まとめ」「ふりかえり」を意識した授業改善を行う
- 全校で統一した漢字指導を行う
- 輝きプランを含め、放課後学習や朝学習の内容を精選し、基礎問題、活用問題に取り組む時間や曜日を決めて全校で取り組む
- ノートに自分の考えを書かせ、意見を発表したり、交流したりできるようにする
- 朝学習や放課後学習に使用する教材を用意する時間を確保する

取組の検証方法及び検証時期

- 結果を受けて校内研修や授業公開などを利用し授業内容の見直し、改善を図る
- 11月のたしかめテストでどれだけ学習内容が定着しているかを見る
- 宿題の出し方について見直しをする
- 11月を目安に子どもに授業内容のアンケートをとり、結果をもとに改善を図る

平成28年度津山市達成目標に対する具体的な目標(数値目標等)

- 国語、算数の平均正答率で県平均を上まわる
- 家庭学習の平均時間を増やし県平均に近づける
- 「めあて」を示されていたとする児童の割合を10ポイント以上上げる
- 「自分の考えをもつ時間があった」とする児童の割合を5ポイント以上上げる
- 「予習」が「できている」とする児童の割合を10ポイント以上上げる
- 「復習」が「できている」とする児童の割合を10ポイント以上上げる